

小学校については 2 案提示する

	案 1 現西中学校用地と現竜川小学校用地にそれぞれ小学校を建設する	案 2 市を南北に分け、北の場所は未定であるが新しい土地を取得し、南は現西中学校用地にそれぞれ小学校を建設する
メリット	<ul style="list-style-type: none"> ・ こども園と小学校の連携がしやすい ・ 土地の購入費用がかからない ・ 現西中学校に建設する小学校と校区があまり重複しない ・ 現在の校区とさほど変わらない 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新たに土地を取得し小学校を建設する場合、建設時の児童の学習等への影響がない ・ 市全体をみたとき、校区が分かりやすい ・ 学校への進入路が取りやすい ・ 通学バスの運営費が案 1 に比べて安価になる
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運動場に新校舎を建てた場合、体育の授業や運動会に制約がでる ・ 東部校区は現在の校区がわかる ・ 市全体をみたときこども園と小学校の配置がかたよったものになる ・ 現西中学校用地、現竜川小学校用地ともに道路の整備が必要 ・ 約 3 年間運動場が広く使えない ・ 2 Km 圏内（徒歩通学エリア）に丸亀市が多く入っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東部校区と竜川校区は現在の校区がわかる ・ そのことにより現行の地域コミュニティが分断されてしまう ・ 北側の小学校の場所によっては、南側の現西中学校用地に建設する小学校との校区の重複が多くなる ・ 土地の購入費用がかかる ・ 確実に土地を取得できるかどうか分からない ・ 現西中学校側の小学校は、2040年に 2 クラスの学年ができる
解決案の	<p>工事中の運動場確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 資材置き場、現場事務所等は運動場を使用せず、竜川幼稚園・竜川保育所跡地を使用する ・ 新校舎を運動場南側に建設し、運動場北側部分を仮運動場とする <p>渋滞緩和</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現学校用地の西端部分を道路として整備し、西側道路の拡幅を行う 	